

本部名：高鍋町東区地域学校協働本部

連絡先：高鍋町教育委員会教育総務課

TEL：0983-23-0315

FAX：0983-22-2295

1 活動の概要

対象学校名	高鍋町立高鍋東小学校、高鍋東中学校
活動分野	学習支援、環境整備、登下校安全見守り、学校行事
【主な取組】	登下校見守り(通年)、読み聞かせ(3学期)、福祉講話・福祉体験学習(10月)、人形まつり・トヨタ出張授業(11月)、お米の学習(12月)、キャベツ学習(2月)
【中止の取組】	田植え(4月)、ふるさと講話(4、5月)、アカウミガメ講話(6月)、蚊口浜清掃(6月)、ふるさと探訪(7月)、サマースクール(7月)、図書室整備(7、8月)、登校日図書返却(8月)、稲刈り(8月)、花壇整備(11月)、薬物乱用教室(11月)、餅つき(12月)、そろばん教室(12月)、ミニ門松・しめ飾り作り(12月)、一人一鉢栽培活動(1月)、昔の遊び(1月)
【連携・協働している機関】	高鍋町社会福祉協議会、高鍋町商工会議所、高鍋町観光協会、高鍋舞鶴ライオンズクラブ、JA児湯、高鍋町役場、高鍋町キャリア教育支援センター
○地域学校協働活動推進員(コーディネーター)1人 ○ボランティア登録者数 165人	

2 特色ある取組の紹介

「高鍋東中学校2年生『福祉体験学習』」



《ここがイチオシ！本部自慢！》

車椅子生活の当事者による講話と体験学習で「障がい者」について考える

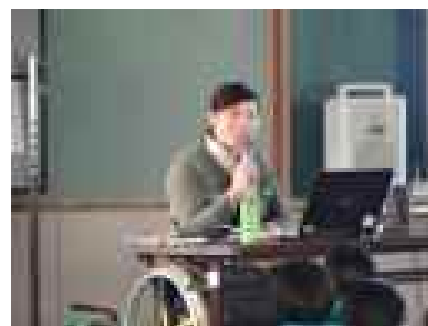
○ 活動内容

前半では、16歳で「脊髄動静脈奇形」と診断され、車椅子生活を宣告された真北聖子さんによる講話を実施。「限りある人生を限りなく楽しむ」をテーマに、突然訪れた困難と向き合い、受け入れることの大変さと大切さ、ありのままの自分を認めてあげることの重要性、そして「障がい者」になったことで出会えた人たちへの思いや経験について語ってくださった。

後半では、特殊、自走、スポーツタイプの車椅子に試乗し、介助する側、介助される側を体験した。生徒たちは思っていたより器用に乗りこなしていたが、介助側になって段差やスロープを操作するのが難しそうだった。

○ 事業を実施して(参加者の声等)

- 車椅子でも一人でできることはたくさんあり、人の助けが必要ない時もある、ということを知ることができた。(生徒)
- 坂道を下る時に声をかけたり、段差などの障害物を速く見つけたりしないとイケないので、とても大変だった。(生徒)
- 車椅子バスケットは楽しかったです。(生徒)



【真北聖子さんの講話】



【車椅子の体験学習】